

長坂

真理の鐘の鳴り響く

平戸市立生月中学校
学校だより 第10号
(令和3年 9月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

コロナ禍の中での「実りの秋」を迎えて ～ 令和3年度 第2学期のスタート ～

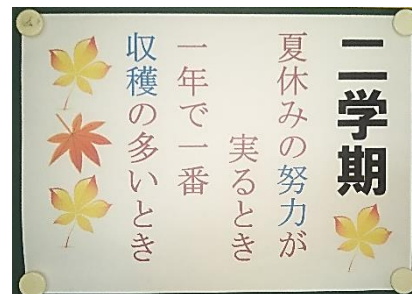
42日間の夏休みが終わり、本日、全校生徒113名で、本年度の第2学期をスタートすることができました。

2学期は、「実りの秋」という言葉のとおり、学習にも運動にも最適の時期であり、学習や行事を通じて、子ども達が心身ともに大きく成長できる時です。

中学校では、日々の授業はもとより、生徒会活動や様々な行事、部活動等を通じて、生徒一人一人に寄り添い、その成長を支援していきます。

今学期も、「自主」・「自立」・「自律」の三つの力を働かせ、それぞれの目標の実現に向かって、大きく成長してくれることを期待しています。

保護者や地域の皆様には、今学期も、本校の教育活動へのご理解とご協力・ご支援を、よろしくお願い致します。



スローガンは『キセキ(奇跡・軌跡)』です ～ 生徒会交流会・子ども議会Ver 2に参加しました ～



去る8月5日(木)、生徒会交流会と子ども議会が開催されました。交流会では、市内各中学校の生徒会の代表が、各学校での活動を紹介しました。また、今年度の子ども議会は、「市長さんと語り合う」形式で開催され、『ふるさとHIRADOの発展のために みんなで考えよう! 動き出そう!』をテーマに、子どもの視点から提言・意見交換が行われました。

本校では、生徒会本部役員全員で、活動紹介や提言の準備を行い、当日は、田中咲智副会長と吉田菜海文化委員長が本校の代表として参加し、交流会ではビデオレター形式で本校の活動を紹介し、子ども議会では空き家や廃校の有効活用で人口減少を食い止めるプランについて、市長さんに提言を行いました。代表の二人はもちろん、生徒会本部役員の皆さん、よく頑張りました。

本校生徒会の立派な取組を参観して、「生月中学 見よここに」の思いを強くしました。本当にありがとうございます!!

まち協からの依頼で「看板」を製作しました! ～ 芸術・科学部の活動紹介 ～

本校の部活動の一つである芸術・科学部に、「山田・館浦地区まちづくり運営協議会」から、早崎地区の花壇とあじさい畑の看板を作してほしいという依頼があり、3年生の部員を中心に製作に取り組みました。先日、完成した二つの看板が、まち協の方々により設置されました。芸術・科学部は、これまでも体育大会のスローガンパネルの製作などで、その腕前を披露していましたが、今回は、立派な看板を完成させることで、生月の町づくりにも貢献してくれました。芸術・科学部の部員の皆さん、お疲れ様でした。そして、ありがとう!!



県独自の「緊急事態宣言」発令! ～ 家庭でも新型コロナウイルス感染症対策の徹底を ～

感染力の強い変異株(デルタ株)の拡大により、県の感染段階がステージ5へ引き上げられ、県下全域に県独自の「緊急事態宣言」が発令されました。特に、若年層への感染拡大に対して、より一層の警戒が必要な状況です。

学校では、宣言期間中、感染防止対策を強化します。ご家庭でも、感染防止対策の徹底をお願い致します。

なお、具体的な対策については、すでに一斉メール(「あんしんメール」)でお知らせするとともに、生徒に、直接、指導しておりますが、近日中に、改めて文書を配付しますので、感染防止対策へのご協力をお願い致します。

学校・家庭・地域、みんなで力を合わせて、「コロナ禍」を乗り越えましょう。